

# F-26 現代家族とその規範（その1） 家風について

福岡教育大学 平田 昌

1. わが国の現代家族を、仮に各種統計資料により、平均的実態で把握すれば、年次的に、人員構成の単一化、縮小化、また一代家族化的様相進行が顕著である。平均余命の伸長、出生児の減少、産業構造変化、制度、意識の変化とその受容差、などもからみ、家族内の役割、情緒、権威、構造に、また生活周期的段階に特色ある実態を示し、離婚、問題児輩出、或は老後生活、扶養、居住上など、個人として家庭としての生活上に、多くの切実な現実的課題を提供している。これらの調整、解決に、家政的寄与の必要はいうまでもない。家庭経営学上の問題として、現代家族の生活支柱としての「規範」の考察を試みた。今回は、そのなかの、「家風」に焦点をおいて発表する。

2. 各種統計資料、実態調査、文献資料による。

3. 研究成果（要旨）

(1) 現代家族の実態的特色（形態、構造、機能、周期的段階、その他）

(2) 現代家族における規範（家族の生活を家庭生活のいとなみと解し、家庭生活の構造的把握上の規範の意義と価値）

(3) 現代家族の家風

a 規範と家風、家憲、家訓、

b 伝統性と一代性、